湖風（うみかぜ）

NALCびわこ彦根・広報誌
第１１４号・平成２８年７月10日
彦根市後三条町１２５（安田武雄方）
電話＆FAX０７４９・２３・２５３７
編集・発行責任者・小林　　博

親を断捨離

１．　親を捨てること

島田裕巳著「もう親を捨てるしかない」の一部を紹介します。

年々、平均寿命が伸び続ける日本だが、認知症、寝たきり老人が膨大に存在する。親の介護は地獄だ。過去17年間に少なくとも672人の介護殺人事件が起きている。事件の背景には時間，金、手間だけでない。重くのしかかる精神的負担に苦しみ、疲れ果てた無数の人が存在する。親がなかなか死なない時代の、本音でラクになる「親捨て」とは？

２．　介護殺人

介護殺人といった悲劇は起こらないほうがいいに決まっている。では、介護殺人に至らないためにはどうしたらいいのでしょうか。著者は、究極的には「親を捨てることである」として述べている。そんなことを云いだせば、「非人間」であるという非難を覚悟しななければならない。たしかに、介護を必要になった親を捨てるなどという行為は相当に残虐なことであるように思える。介護殺人に至った人々の場合も、介護を必要になった親を、邪魔になったから殺したわけではない。殺したくはないが状況があまりにも過酷で、生活が成り立たなくなり、精神的に追い込まれていったからこそ、やむを得ず親を殺し、その罪を背負う為に自分も死のうとしたのである。しかし、親を捨てていれば、介護殺人に至ることはない。親も人生の最後に殺されることはないし、それまで前科の一切ない子供が殺人者になることもないのだ。

ならば、親を捨てたほうがいい。親もまた捨てられることを覚悟するべきではないだろうか。（続く）　　（安田）

びわこ彦根広報板

〔５月の活動記録〕

時間外預託点数　６点　（１人）
奉仕活動点数　　３点　（３人）

〔運営委員会・月例会〕

実施　　６月７日（火）ＰＭ１：３０～
予定　　７月　７日（火）ＰＭ１：３０～

〔５月度の経過報告〕

*サロン開催実績
おしゃべり４回２５名　パソコン０回
卓球３回６名　読書１０人８冊
チビッコサロン　４組９名

〔助け合い〕　０件

〔福祉調査センターの活動〕

実施　　６月　１件
予定　　７月　１件

〔連絡事項〕

・28年度の宅老所補助金は受けられることになりました。介護保険法の改正により彦根市の方針が変わったことによるものです。
・平28年度からは、スタッフ費の支出が認められますのですが、従来支出が認められていたものが認められなくなります。
・運営の方針も、変更をしないと補助金を返還することになりそうです。運営については、話し合いをしながら進めていきます。
・「親を断捨離」の内容は、「もう親を捨てるしかない」著者：嶋田裕巳氏の記事の一部を紹介したものです。ナルク文庫にも、備付ける予定です。引き続き内容を紹介していきます。